



CENTRAL
AICHI SYMPHONY
ORCHESTRA

セントラル愛知交響楽団 定期演奏会



187th

2022.1/28(金)

18:45開演 (17:45開場)

発売日 一般 12/8[会員先行 12/6.7]

指揮 / レオシュ・スワロフスキー
(当団名誉音楽監督)

- スメタナ：歌劇「売られた花嫁」序曲
- ドヴォルザーク：チェコ組曲Op.39/B.93
- ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」
ホ短調Op.95/B.178

2022.3/17(木)

18:45開演 (17:45開場)

[18:25～プレトークあり]

発売日 一般 1/26[会員先行 1/24.25]

指揮 / 角田鋼亮
(当団常任指揮者)

- 萩森英明：Novelette for Violette
On a Theme by Scarlatti
- ラフマニノフ：コレルリの主題による変奏曲ニ短調Op.42
(編曲:ダンブラヴェヌー)
- エルガー：創作主題による変奏曲「エニグマ」Op.36

188th

三井住友海上しらかわホール

☎052-222-7110 名古屋市中区栄2-9-15
(地下鉄「伏見」駅下車、5番出口より徒歩5分)

チケット料金/全席指定 A席4,500円 B席3,500円 C席2,500円/学生席1,000円(学生席は座席指定不可
※未就学児入場不可 指定の場合は一般価格の半額 当団事務局のみの取扱い)

チケット取扱い ●セントラル愛知交響楽団(郵送サービス有)

●しらかわホールチケットセンター ☎052-222-7117

●愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430

●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (WEB受付のみ)

※やむを得ない事情で公演の中止または出演者・演奏曲目・曲順等が変更になる場合がございますのでご了承ください。
※当団定期会員・賛助会員様は会員先行発売日のご購入・会員割引価格でのご購入が可能となります。[当団事務局でのみ受付]

お問い合わせ
チケットの
お申し込み

セントラル愛知交響楽団

☎052-581-3851 <http://www.caso.jp>

(10:00~17:30/土日祝休) チケットはホームページからお申し込み頂けます。



主催/公益社団法人セントラル愛知交響楽団 共催/中日新聞社
後援/愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・FM AICHI
協賛/三井住友海上・名古屋市美術館
助成/文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁

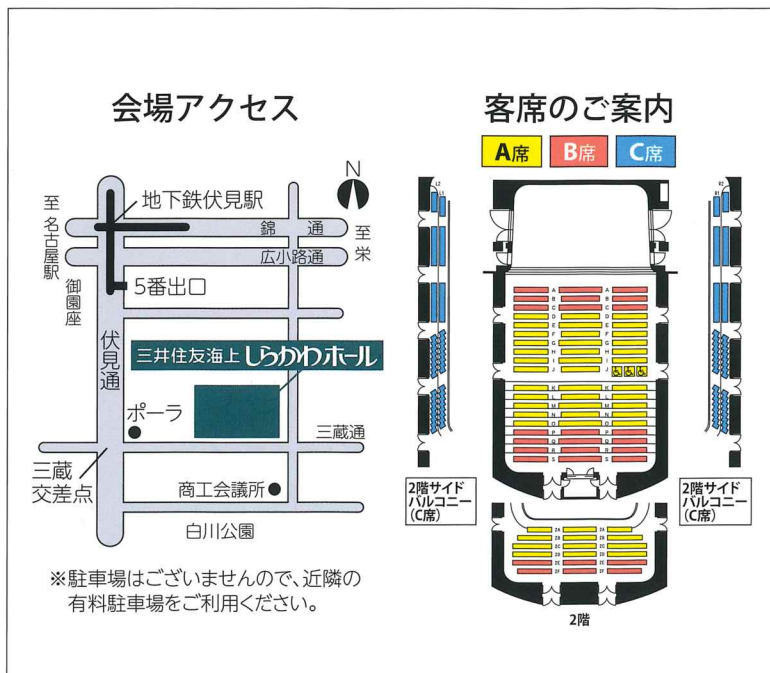
チェコ生まれ。プラハ芸術アカデミーでノイマンに学び、プラハ国民歌劇場においてはコシュラーの下で副指揮者を務めた。その後ヤナーチェク・フィル、ブルノ・フィルなどの首席指揮者を歴任。これまでにシュターツカペレ・ドレスデン、ザルツブルク・モーツァルテウム管、リンツ・ブルックナー管、モスクワ放送チャイコフスキー響などに客演。チェコ・フィルには定期的に客演している。プラハの春、プラハの秋、パイロイトなど著名音楽祭への参加も多い。スロヴァキア・フィル、ブルノ・フィルなどの日本公演をいずれも成功に導く一方、国内オーケストラの客演の機会も多く、日本での評価を着実に高めている。なかでも10年7月の都響創立45周年記念特別公演「売られた花嫁」でスロヴァキアの歌手陣も加わって名演。また13年10月の都響定期と仙台フィル定期では、名門スロヴァキア・フィルハーモニー合唱団も参加し、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」を共演。14年4月セントラル愛知交響楽団の音楽監督に就任(現・名誉音楽監督)。

東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団と共演している。2015年より、セントラル愛知交響楽団の指揮者に就任。2016年、セントラル愛知交響楽団第145回定期演奏会(シベリウス&山田耕筰作品)が高く評価され、「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」を受賞。2019年4月より、セントラル愛知交響楽団常任指揮者に就任。仙台フィルハーモニー管弦楽団においても指揮者のポジションを務めており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拡げている。2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。2021-2022シーズンのハイライトとしては、N響オーチャード定期「チャイコフスキー:交響曲第4番」、東京フィル「R.シュトラウス:ばらの騎士」、セントラル愛知との「ブラームス:交響曲第4番」「シューマン:交響曲第3番」「ラヴェル:マ・メール・ロワ」があげられる。

<http://kosuketsunoda.com>

セントラル愛知交響楽団 Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。レオシュ・スワロフスキーを名誉音楽監督に、名誉指揮者小松長生、特別客演指揮者松尾葉子、首席客演指揮者齊藤一郎、正指揮者古谷誠一という布陣で新たなスタートを切る。2021年度はアソシエイトコンダクターとして阿部未来を迎える。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評を博す。海外では2007年中国内蒙古自治区、2009年タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)、2017年韓国・釜山(釜山マリン国際音楽祭)で公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市長芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。



新型コロナウイルス感染症対策 ご協力をお願い

- チケット半券には、ご来場のお客様のお名前とご連絡先を必ずご記入ください。
※感染者が発生した場合、ご来場者様の個人情報が必要に応じて保健所等へ提供しますので、予めご了承ください。個人情報は厳重に管理し、上記目的にのみ使用し保存期間経過後は確実に破棄いたします。
- 発熱や体調不良の場合、過去2週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある場合、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域の在住者との濃厚接触がある場合はご来場をお控えください。
- マスクを着用し、入場時の手指消毒・検温にご協力ください。(37.5℃以上の発熱時は入場をお断りします。)
- 会場内での会話は極力お控えいただき、「ブラボー」などの掛け声はご遠慮ください。
- 終演後は時間差退場にご協力ください。 ■出演者への贈り物、面会のご遠慮ください。 ■クロークはご利用いただけません。
- ホール内の換気による外気との寒暖差が発生する場合がございますので、服装にご配慮ください。
- 前後左右の間隔を空けない配席となります。ただし、状況に応じて振替席への移動をお願いする場合があります。

※2021年9月現在の対策です。変更となる場合があります。